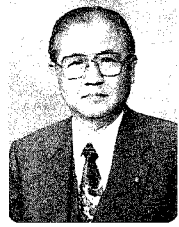


教育長に

横山 守氏



この度、任期満了となる教育委員、横山守相川 猛の

両氏が再任されました。

市教育委員会は、十二月定例教育委員会において教育長に横山守委員を選任。山梨県教育委員会の承認を得て、引き続き教育長に任命いたしました。

再任のあいさつ

この度、教育長に再び任命をいただき、改めて職責の重さを痛感しております。

今日、国際化、情報化、高齢化の急速な進展により、教育を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。学校五日制の実施、新学習指導要領への移行、生涯学習にかかわる施策の充実など、時代に対応したさまざまな教育課題への取り組みが求められております。

教育は百年の計と言われております。「教育は人による人づくりです。」

そのためにも二十一世紀を担う児童、生徒にゆとりのある良好な教育環境の確保および教育内容と生涯学習の推進のための家庭教育の充実、芸術文化とスポーツの振興が重要であります。

私は、教育行政を進めるなかで多くの意見とご理解をいただきながら、これらの諸課題に微力ではありますが全力で取り組み、教育条件の整備充実を図りながら、公正にして厳正、誠実で温かみのある開かれた教育行政を推進してまいりたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

監査委員に

初原 式氏

十二月十一日の定例市議会において、都留市監査委員、故 天野裕明氏の後任に、初原 式氏が選任されました。

ふるさとの 1 月

- 4 日 消防出初式
谷村第一小学校校庭 他
- ～7 日 都留七福神めぐり
曹洞宗七ヶ寺
- 14 日 道祖神祭礼
(どんどん焼き・サイの神)
- 15 日 成人式 文化会館
石船神社祭礼(護良親王の御首級・宝刀の公開)
- 16 日 十王まいり
(初閻魔・えんままつり・やぶ入り) 深泉院他
- 17・20・21 日 山の神
市内各地
- 25 日 天神講
金井・小形山・沖・与縄他
- 2 月 3 日 節分 市内各地

都留市地名考

その十二

窪田 薫

〇染色に関する地名

『延喜式』によると、甲斐国では古代調(律令制の現物納租税の二)として、「緋帛廿五疋、紺帛六十疋、皂帛廿五疋、橡帛十疋……」其の他を指定され、朝廷に貢納した。つまり帛に緋・紺・皂・橡などの色を染めて貢納したことが知られる。緋や紺色は身分の高い人、皂や橡色は身分の低い庶民や奴婢(下男・下女)の衣の色である。都留郡は山間地であるから、織物による貢納の割合が多かったこと

であろう。

都留市の「厚原牛石遺跡」や「田原三の側遺跡」から、奈良、平安時代に使用した鉄製の紡錘車(繊維に撚りをかけて、撚った糸を巻きとる用具)が出土しているが、このことは当時の住民が布を織っていた証拠である。

都留市において、古代帛(白いねり絹)に染めた植物染料にかかわる小字地名をあげると、大桑山(宮原) 小桑原(緑町) 栃苗代(細野) 栃久保(法能) 桃園(引

の田・田野倉・玉川) 黒柏(川茂) 「黄和田(黄葉) 久保」(上谷・都留文大付近) 黄皮沢(朝日馬場) がある。

その他都留郡で、染料に使用したと考えられる植物に、胡桃、榛、ズミ・柏・漆などあげられる。

都留市文化ホールの建設にともない、その予定地に古代植えられていた黄葉を中心、染料に使用した植物を集めて庭に配置するのも、意義のあることと考える。

表(都留市の地名に残る植物染料)

植物名	説 明	染 料	途 他
桑	くわ科の落葉喬木、高さ一〇メートル以上に達することあり。	樹皮、根皮の煎汁で黄褐色に染める。	樹皮の繊維は製紙の原料、葉は養蚕用として重要。
橡(栃)	とちの木科の落葉喬木、高さ約二五メートル。	橡は「つるばみ」で、つるばみ色ともいう。実(どんぐり)・殻斗・樹皮・葉の煎汁を用いて、淡黄褐色・濃黄褐色・青黒色・黒褐色の染色や皂に染める。	種子から澱粉をとる。材は板に挽き、刳物(くりもの)に用いる。
桃	楊梅・山桃。やまもも科の常緑喬木、高さ約一〇メートル。	樹皮の煎汁を用いて褐色・黒褐色の染料とする。	幹は種々の用材に、果実は食用。
柏	榲・榲(かしは)。ぶな科落葉喬木、高さ約八メートル。	煎汁で黄褐色・黒色染料。	材は薪・炭となる。
黄 葉	きはだ。ヘンルーダ科の落葉喬木、高さ二五メートルに達する。	樹皮を「おうばく」といい、黄色の染料材とする。	漢方で健胃剤、火傷などに用いる。材は光沢美しく家具・細工物にする。